

-----9月6日----- 2021年

## ※ 今週のアウトルック (9/6~9/10)

先週は週末に米国雇用統計を控え、全般的には小動きな展開となりました。金曜日に発表された米国雇用統計は、予想外の落ち込みとなり、米国長期債は反落、米ドルも売りが優勢となりました。

今週は米国雇用統計悪化の影響がどこまで広がるかが、まずはポイントとなりそうですが、週前半は難しい展開となりそうです。

先週のドル円は、週末に米国雇用統計の悪化を受けて 109 円台まで下落し、そのまま週末を迎えています。

今週はこの余波がどの程度まで広がるかが、まずはポイントとなりそうですが、109 円付近まで一度下落する可能性がいささか高いようにも思います。

ドル円の予想レンジは 109 円から 110.5 円です。

先週のユーロ円は、金曜日の前半までは上昇を続け 130 円後半まで到達しましたが、米国雇用統計発表後は下落し、130 円前半で週末を迎えています。

今週は、下落がどのあたりで止まるかがまずはポイントとなりそうですが、130.5 円付近への到達で、一度ピークアウトする可能性もあり、129 円付近まで一度下落する可能性も考慮しておいたほうが良さそうです。

ユーロ円の予想レンジは 128 円から 132 円です。

ポンド円も若干の上昇余地がありますが、このままピークアウトする可能性もあるように思います。

ポンド円の予想レンジは 150 円から 153 円です。

コロナ終息が遠のいている感もあり、市場に警戒感が出てきているようにも思います。センチメントの大きな変化には注意が必要です。

\* 免責事項 \* 当レポートを参考にトレードを行い、損失が生じた場合でも、責任は負いかねますのでご了承ください。